

わかりあうための バーチャルリアリティ



バーチャルリアリティでは、ユーザの周囲の環境を人工的な環境に置き換えて感じさせるだけでなく、ユーザ自身の身体までもが実際とは異なる身体であるように感じさせることができ、ユーザは異なる立場の人の身体的・感覚的経験を自分ごととして体験できます。本講演ではこうしたバーチャルリアリティの特性を活用して自分を見つめ直したり、他者との相互理解を促進したり、新たな社会的関係の構築を支援する研究について紹介し、この種の技術の可能性や限界について議論します。

講師：鳴海 拓志



2006年東京大学工学部システム創成学科卒業。2008年同大学大学院学際情報学府修了。2011年同大学大学院工学系研究科博士課程修了。同大学大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻助教、講師を経て、2019年より准教授、現在に至る。クロスポイントメントによりお茶の水女子大学基幹研究院自然科学系准教授を兼任。クロスモーダルインタフェース、ゴーストエンジニアリングに関する研究に従事。博士（工学）。

日時：2025年 7月16日（水）
9:30-10:30

対象：本学の学生・教職員
※お茶大のメールアドレスをお持ちの方

開催方法：オンライン方式
(Zoom ミーティング)

要申込



締切 7月15日（火）
12:00 まで